

明治十二年七月、十三年六月秋田県各郡別村々薪炭産出高等調査について(一)

高橋秀夫

(一九九一年一〇月三〇日受理)

一 はじめに

明治政府は殖産興業政策推進のために全国規模での様々な政策をその成立直後から実施していき、またそのために必要な全国的な勸業調査なども地租改正事業の完了を待たずに開始していった。

この種の初期のものは「全国農産表」といった形でまとめられておるものの、それらは国郡別に取纏められており、残念ながら各市町村単位での数量は知ることが出来ない。

明治十年代の半ばからは、各府県単位の統計書が毎年発行されるようになり、ほぼ前後してやはり県単位での「勸業年報」なども毎年出されていくようになる。

秋田県の場合、県統計書は明治十四年度のものから、また県勸業年報は第一回が明治十一年分のものから取纏められ刊行されている。

しかしこれ等は、当初、そして明治三十年頃迄はいずれも各郡別に区分して処理されており、例えば県庁所在地であり、県内最大の都市であつ

た秋田町の場合でも、南秋田郡のなかに含まれており、郡別を単位とする大きな地域区分での動向を見るさいはともかくとして、それ以下の個別町村単位の詳細を把握することは数量的には困難な状況である。

わずかに明治十年前後、村で作られた「村誌」書き上げの草稿類が村の調査のさいに幸運にも見出せた場合、その記載から村単位の産額などを知ることが出来る程度である。

ここに紹介するのは、そうしたなかにあつて明治十三年(一八八二)六月一五日付けで中央の山林局から県令宛に出された各管内薪炭の一ヶ年分の、

一 諸製造所等の多量の需要のあるものの数量。

二 産出高。山元総代価(山元売り捌き値段)。

三 他府県への輸出高。この場合の売り出し代価。この価格はその問屋より仕向け先へ取引代価を示すこと。

四 他府県からの輸入高。

以上四項目の調査、回答を求める指示が出された。

この調査の狙いは県令宛の文面では、「近来いろいろな事業が年々多くなり、そのため薪炭の需要が多くなり、また盗伐もあつたりで、地方によっては薪炭の供給が不足し、このまま放置しておくならば数年を経ずして困った事態が生じかねない。

したがって各地方の一ケ年の産出高、消費高をよく調べて需要、供給の調整を計ること。そして将来各地適応の樹木栽培の見込み等を立てることを目的として行うものである。

もっともこの調査、特に民需高は、この調査がみだりに課税等に使用されると誤認して正確に実状を述べないことのないようにすること。

報告の期限は、調査を至急おこない七月中とする。それによって本年より植樹に着手する都合もあるので、なるべくこの期限を守り、早急に調べるよう」にとの趣旨でなされたものであった。

さいわい秋田県庁にこの関係の書類が現存している。

これは「明治十三年自十月至十一月 勸業課報告係事務簿 三番 報告之部」のなかに収められている県段階での関係文書である。

本稿では右の四つに関する内容の紹介を意図する。ただし紙面の都合からその順序にしたがわず、まず秋田県管内各郡各村別の薪炭産出の内容から始めることにする。

二 秋田県の対応

この中央の指令は、明治十二年六月十五日に最初の各県令宛に出さ

れた。この返答の期限は七月中という指示がなされており、その報告の表示の例なども示されていた。ついで七月十四日に再度同趣旨のものが出された。

これを受けて県では各郡役所を通して各町村に指示した。管見の限りではさいわい役場文書の現存する平鹿郡下樋口村の「明治十三年 郡役所達 下樋口事務処」(平鹿町立図書館所蔵)でこの間の事情が判明する。それによれば郡役所から八月十四日付の文書による指令が到着した。それに取り調べの上、八月二十日迄に差出すよう命じている。

これによって、少なくとも平鹿郡の場合には各村まで通達が下りていったことがわかり、恐らく他の郡でも調査の性格上、いくら急を要するものとは言え郡役所段階では処理されず、各村まで下りていったものとみられる。

この下樋口村から何時、如何なる報告が郡役所宛なされたかについては記録がなく不明だが、各地ともとうてい最初示された期限内には間に合わず延期願いが郡から県庁宛に出されている(前掲県庁文書、以下特に断らない限り同じ)。

九月十日付で平鹿郡から二十日迄の期限延長を、同十七日付けで、河辺郡からなどである。こうした事態は一つには返答の期限があまりにも短かったこと。また秋田県では丁度この時期山林の地租改正事業が進行中であり、国や県からこの調査に対する趣旨をそのまま素直に受け止め得なかった事情もあつたのではないかと推察される。

ともあれ同年九月下旬から十月下旬にかけて、各郡から相次いで県宛

に回答がなされていった。これを受けて秋田県では全体の纏めにはいったものが見られたが、最終的に中央に報告したものの草案といったものは身当たらない。

ただそうしたなかにあつて、十月五日付で山林局から秋田県令石田英吉宛に至急答せよとの督促が来ていることからして、まだこの段階では県から提出されていなかったものとみられる。

三 各郡各村別薪炭需要高調査表について

以下一〜四号の各順ではなく、その記載分量がもっとも多い第三号から紹介していくこととする。

これは中央から指示された四つのうちの第三号に当たるものであるが、その例示の表が示されている。すなわち木種薪炭、員数、斤量、一個ノ斤量、山元総代価、山元一個代価、産出場所の各項目を縦書きで表示することである。

薪炭は一ケ年間産出の総数を、山元代価とはその薪炭を産出する山元の売捌値段を一種ごとに示すことと指示している。

そして、次のような統一基準を指示している。

薪炭木種はなるべくその区分をして列記することとするが、もし混じりあつていて区分し難い場合には、雑木、雑炭と記入すること。

員数欄の束、駄、棚等、その土地の慣習の呼称のあるものはそのまま記載してかまわないが、その荷造りの仕方や方積等を詳記した凡例を付添うこと。土地の慣習により縦横間尺をもって呼称するものは、そのま

までではなく、重量を改め斤量の欄には貫目を記載すること。

以下秋田県の南部から各郡別に示すことにする。但し紙数の都合で分載になるので、整理の都合上、旧秋田藩領域の諸郡を先に示し、由利・鹿角の両郡をあとに示すことにし、表示は便宜上横書きとする。

なお一号、二号、四号のそれぞれの内容については後日別稿で紹介することにしたい。

表1 明治12年7月~13年6月 雄勝郡各村薪炭産出高調査表

町村名	木種薪炭	員数	斤量	(個)斤量	山元総代価	山元一個代価	産出場所
田代村	雑炭	580俵	4060貫	7貫	58円	10銭	字深沢民有山
宇留院内村	雑炭	1700俵	17000貫	10貫	340	20銭	字閨院内山民有山
松岡村	雑炭	1120俵	7840貫	7貫	45.40	4銭	飯沢村字阿黒玉沢民有山
上致米村	雑炭	370俵	2590貫	7貫	37.00	10銭	字判官沢民有山
関口村	雑炭	10張	1320貫	132貫	7.00	70銭	字関口山官山
	檜薪	10 "	1320 "	132 "	7.00	70 "	"
	檜柴薪	500束	1000 "	2 "	7.50	1銭5厘	"
	雑柴薪	350 "	700 "	2 "	5.26	"	"
	計	20張 850束	2640 " 1700 "	264 " 4 "	14.00 12.26	1.40円 3銭	
川井村	雑薪	4330本	38970貫	9貫	129.90	3銭	役内村字赤倉官山
	"	5720 "	54800 "	9 "	171.60	3 "	字滝ノ沢民有山
	計	10050 "	93770 "	18 "	301.50	6 "	
飯沢村	雑薪	665張	133000貫	200貫	66.50	10銭	字下飯沢民有山
	雑薪	1200俵	12000 "	10 "	60.00	5 "	字登川提民有山
役内村	ブンナ薪	2748本	24732貫	9貫	82.44	3銭	字西ノ又官山
	"	2694 "	24246 "	9 "	80.82	3 "	字東ノ又官山
	"	1798 "	16182 "	9 "	53.94	3 "	字薄久内官山
	"	3680 "	33120 "	9 "	110.40	3 "	字大尻高沢官山
	"	2939 "	26451 "	9 "	88.17	3 "	字黒沢官山
	"	2837 "	25533 "	9 "	85.11	3 "	字赤倉沢官山
	"	2655 "	23895 "	9 "	79.65	3 "	字畑ノ沢官山
	"	2360 "	21240 "	9 "	70.80	3 "	字西檜淵官山
	"	3025 "	27225 "	9 "	90.75	3 "	字東檜淵官山
計	24736本	222624貫	45.0 ^(マ) 円	742.08	27銭		
石塚村	雑炭	1280俵	8960貫	7貫	51.20	4銭	(ナシ)
大沢村	松薪	32張	10300貫	350貫	41.60	1.30円	字丸森民有山
	雑薪	35 "	2927.5 "	8.25 "	35.0	1.0円	字二ツ井民有山
	雑炭	1080 "	7020 "	6.5 "	162	15銭	字鍛冶台民有山
	計	67張 1080 "	13225貫 7020 "	358.25貫 6.5 "	76.6 162	2.3円 15銭	
樺川村	雑薪	150張	22500貫	150貫	75	50銭	字狼沢民有山
川向村	雑薪	1800本	1800貫	1貫	90	5銭	字板戸民有林
	雑炭	180俵	1800 "	10 "	36	20 "	"
岩井川村	雑薪	160張	24000貫	160貫	80	50 "	字明道官山
田沢村	雑薪	25棚	10800貫	432貫	7.5	30銭	字山タル民有山
	"	20 "	8640 "	432 "	6	30 "	字長橋民有山
	"	25 "	10800 "	432 "	7.5	30 "	字桂沢民有山
	"	30 "	12960 "	432 "	9	30 "	字下田沢民有山
	計	100棚	43200貫	1728貫	30	1.2円	

町村名	木種薪炭	員数	斤量	(個)斤量	山元総代価	山元一個代価	産出場所
鹿内村	雑薪	50棚	21600貫	432貫	15円	30銭	字杉ノ沢民有山
	〃	20〃	8640〃	432〃	6	30〃	字タモキ沢民有山
	〃	30〃	12960〃	432〃	9	30〃	字餅田山民有山
	雑炭	480俵	2400〃	5〃	28.8	6〃	〃
	〃	120〃	600〃	5〃	7.2	6〃	〃
	〃	240〃	1200〃	5〃	14.4	6〃	字大岩民有山
	〃	360〃	1800〃	5〃	21.6	6〃	字五郎沢民有山
	計	100棚 1200俵	43200貫 6000〃	1296貫 20〃	30 72	90銭 24〃	
軽井沢村	雑炭	1500俵	15000貫	10貫	255	17銭	字岩瀬山民有山
中村	ブンナ薪	300棚	6000貫	200貫	60	2円	字大沢民有地
	檜炭	100俵	1000〃	10〃	18	18銭	〃
	ブンナ炭	200〃	1200〃	10〃	30	15〃	〃
	檜炭	50〃	500〃	10〃	9	18〃	字宮月
	ブンナ炭	150〃	1500〃	10〃	22.5	15〃	〃
	檜炭	50〃	500〃	10〃	9	18〃	字萱ノ沢
	ブンナ炭	100〃	1000〃	10〃	15	15〃	字萱ノ沢民有地
	計	300棚 650俵	6000貫 6500〃	200貫 60〃	60 103.5	2円 69銭	
湯ノ沢村	雑薪	50張	9000貫	180貫	15	30銭	字大台民有山
吉野村	雑薪炭	1080本	864貫	800目	16.2	1銭5厘	字大沢民有山
	雑炭	150俵	600〃	4貫	18.75	12〃5〃	〃
寺沢村	雑薪炭	50張	5000貫	100貫	25	50銭	字段ノ山民有山
	雑炭	300俵	2700〃	9〃	45	15〃	字大沢民有山
杉沢村	雑薪	1500束	4500〃	300〃	10.5	7厘	字野之沢山民有山
高松村	雑炭	2700俵	27000貫	10貫	540	20銭	字高松沢民有山
桑ヶ崎村	雑炭	1170俵	4680貫	4貫	93.6	8銭	字小比内民有地
下仙道村	雑薪炭	87棚	36975貫	425貫	4.35	5銭	字刈メキ畑ノ沢民有地
	雑炭	350俵	2450〃	7〃	35	10〃	字苗代沢民有山
上仙道村	雑薪炭	105棚	44625貫	425貫	3.15	3銭	字上ノ沢民有地
	雑炭	420俵	2940〃	7〃	37.8	9〃	字二ツ橋新処民有地
水沢村	雑薪	8棚	1920貫	240貫	4	50銭	字袖沢日影民有山
	〃	7〃	1680〃	240〃	3.5	50〃	字堂ヶ沢民有山
狙半内村	雑薪炭	750張	97500貫	130貫	375	50銭	字大川目民有山
	雑炭	2200俵	22000〃	10〃	374	17〃	同村(ママ)

(備考) 凡例等なし。

表2 明治12年7月～13年6月 平鹿郡各村薪炭産出高調査表

町村名	木種薪炭	員数	斤量	一個/斤量	山元総代価	山元一個代価	産出場所
大沢村	雑薪	78棚	922.6貫	170貫	39円	50銭	字真木民有山
明沢村	松薪	10棚	500貫	50貫	10	1円	字鳥頭沢山民有山
	雑薪	20 "	1600 "	80 "	14	70銭	"
	松薪	50 "	2500 "	50 "	50	1円	字大沢鍋ヶ沢山民有山
	雑薪	20 "	1600 "	80 "	14	70銭	"
	雑薪	12 "	960 "	80 "	6	50 "	字清水台山民有山
上吉田間内村	松薪	24棚	1200貫	50貫	24	1円	字中山民有山
大屋新町村	雑薪	100棚	13000貫	130貫	80	80銭	字風平民有山
大屋寺内村	雑薪	50棚	6500貫	130貫	40	80銭	字楢沢民有山
	雑薪	50 "	6500 "	130 "	40	80 "	字熊ノ沢民有山
	雑薪	20 "	2600 "	130 "	16	80 "	字風平民有山
	"	15 "	1950 "	130 "	12	80 "	"
	計	135棚	17550貫		108		
板井田村	松薪	340棚	1870貫	55貫	680	2円	字北ノ沢民有山
	雑薪	3550 "	27620 "	75 "	1775	50銭	"
大森村	松薪	3000本	750貫	250匁	18	6厘	字牛ヶ沢民有山
	松薪	10000 "	1250 "	125 "	18	1厘8毛	"
八沢木村	松薪	400本	12000貫	35貫	100	25銭	字中房民有山
	松薪	1500 "	45000 "	300 "	125	90 "	字葛ヶ沢民有山
	雑薪	10040 "	420000 "	300 "	1120	80 "	"
	雑炭	9700俵	77600 "		485	5 "	字鎮具沢民有山
	計	11940本 9700俵	477000貫 77600 "		1345 485		
坂部村	松薪	150本	4500貫	30貫	22.5	15銭	字開民有山
	松薪	1500 "	22500 "	15 "	37.5	2銭5厘	"
	雑薪	3000 "	90000 "	300 "	225	75銭	"
	雑炭	550俵	4400 "	8 "	20	3銭9厘	"
	計	4650本 550俵	112600貫 4400 "		285 20		
猿田村	松薪	18200本	54600貫	300目	109.2	6厘	字六盃民有山
	松薪	250400 "	375600 "	150 "	500.8	2 "	"
	雑薪	19200束	28800 "	1貫500目	115.2	6 "	"
	計	268600本 19200束	411400貫 28800 "		610 115.2		
矢神村	松薪	4500本	4500貫	1貫	88	2銭	字南沢民有山
	松薪	8000 "	8000 "	1 "	80	1 "	"
	雑薪	8000 "	8000 "	1 "	64	8厘	"
	雑炭	170俵	1584 "	9 "	52.8	30銭	字中ノ沢民有山
	計	20500本 170俵	20500貫 1584 "		232 52.8		

町村名	木種薪炭	員数	斤量	一個/斤量	山元總代価	山元一個代価	産出場所
袴形村	松薪	5000本	1250貫	250目	25円	5厘	字西石神沢民有山
	雑薪	2500 "	5000 "	2貫	62.5	2銭5厘	"
	松薪	7000 "	1750 "	250目	35	5厘	字西二井山沢民有山
	雑薪	3500束	7000 "	2貫	87.5	2銭5厘	
上溝村	松薪	55600本	166800貫	300目	333.6	6厘	字吉ヶ沢武道民有山
	梢薪	366800 "	595200 "	150 "	793.6	2 "	"
	雑薪	31900束	47700 "	1.5貫	207.44	6厘5毛	"
	梢薪	252俵	2016 "	8 "	52.92	21銭	"
	雑炭	252 "	2016 "	5 "	33.72	13 "	"
	計	422400本 31900把 504俵	762000貫 47700 " 4032 "		1127.2 207.44 86.64		
三又村	梢薪	50棚	15000貫	300貫	25	50銭	字松沢民有山
	雑薪	150 "	30000 "	200 "	75	50 "	"
	梢炭	1000俵	4000 "	4 "	70	7 "	"
	小計	200棚 1000俵	45000貫 4000 "	500貫 4 "	100 70		
	梢薪	50棚	15000貫	300貫	25	50銭	字桂沢民有山
	雑薪	100 "	20000 "	200 "	50	50 "	"
	梢炭	500俵	2000 "	4 "	35	7 "	"
	小計	150棚 500俵	35000貫	500貫	75		
	雑薪	50棚	10000貫	200貫	25	50銭	字野黒民有山
	梢薪	50 "	15000 "	300 "	25	50 "	字高手沢民有山
雑薪	50 "	10000 "	200 "	25	50 "	字赤竹民有山	
雑薪	50 "	10000 "	200 "	25	50 "	字本田民有山	
梢薪	50 "	15000 "	300 "	25	50 "	字貝沢台民有山	
小計	250棚	60000貫	1200貫	125			
小松川村	雑薪	520棚	67600貫	130貫	390	75銭	字山鳥小沢民有山
	雑炭	750俵	3000 "	4 "	82.5	11 "	"
土淵村	雑薪	400棚	52000貫	130貫	340	85銭	字小山田民有山
	雑炭	900俵	4050 "	4.5 "	170	13 "	"
筏村	雑薪	405棚	47385貫	170貫	81	20銭	字水上民有山
	栗炭	175俵	1085 "	6.2 "	18.025	10銭3厘	"
	雑炭	1710 "	10773 "	6.3 "	182.92	10銭7厘	"
	小計	405棚 1885俵	47385貫		81 200.999		
	雑薪	340棚	39780貫	117貫	61.2	18銭	字沢田民有山
栗炭	85俵	510 "	6 "	8.5	10 "	"	
雑炭	570 "	3591 "	6.3 "	57	10 "	"	
小計	340棚 655俵	39780貫 4101 "		61.2 65.5			

町村名	木種薪炭	員数	斤量	一個ノ斤量	山元総代価	山元一個代価	産出場所
南郷村	雑薪	312棚	36816貫	118貫	56.16	18銭	字弘川民有山
	栗炭	318俵	2035.2 "	6.4 "	25.44	8 "	"
	雑炭	460 "	2852 "	6.2 "	27.6	6 "	"
	雑薪	375棚	43500 "	116 "	67.5	18 "	字下南郷民有山
	雑炭	2750俵	16775 "	6.1 "	165	6 "	"
	雑薪	563棚	65871 "	117 "	95.71	17 "	字畑南郷民有山
	雑炭	215俵	1290 "	6 "	10.75	5 "	"
黒沢村	雑薪	462棚	54516貫	118貫	64.68	14銭	字瀬野ヶ台民有山
	栗炭	20俵	126 "	6.3 "	0.80	4 "	"
	雑薪	234棚	28080 "	120 "	35.1	15銭	字荒沢口民有山
	雑炭	180俵	1098 "	6.1 "	6.3	3銭5厘	"
	雑炭	195 "	1189.5 "	6.1 "	5.85	3銭	字堂ノ上民有山
大松川村	雑薪	350棚	70000貫	200貫	245	70銭	字赤水沢民有山
	雑炭	1200俵	7200 "	6 "	240	20 "	"
	雑薪	500棚	100000 "	200 "	350	70 "	字外山民有山
	雑薪	500棚	100000 "	200 "	350	70 "	字福島民有山
	雑炭	1600俵	9600 "	6 "	320	20 "	"
	雑薪	300棚	60000 "	200 "	210	70 "	字矢ハキ沢民有山
平野沢村	雑薪	300棚	39000貫	130貫	210	70銭	字岩ノ目沢民有山
	雑炭	500俵	1850 "	3.7 "	50	10 "	"
	雑薪	600棚	78000 "	130 "	420	70 "	字石又田民有山
	雑炭	1800俵	6660 "	3.7 "	180	10 "	"
	雑薪	680棚	88400 "	130 "	476	70 "	字金山沢民有山
	雑炭	2200俵	8140 "	3.7 "	220	10 "	"
二井山村	松薪	2500本	2500貫	1貫	37.5	1銭5厘	(字ナシ、ママ)
	松槽薪	8000 "	8000 "	1 "	64	8厘	
	雑薪	10000 "	10000 "	1 "	60	6 "	
	雑炭	300俵	2700 "	9 "	90	30銭	
	計	20500本 300俵	20500貫	3貫	161.5 90		
杉沢村	雑薪	250棚	15700貫	70貫	1250	50銭	字弥勒民有山
総計	薪	16177棚	1252062.6貫		7860.35		
		776090本	1863000貫		3017.9		
		57100束	88500 "		472.64		
炭	28157俵	176874.7 "		2557.175			

但 1 棚トハ縦 3 尺、堅横 5 尺四方ヲ 1 棚ト称ス。

1 束トハ長サ 3 尺 2、2 尺 5 寸丸ヲ 1 束ト称ス。

(備考) 表中の、小計、計は記載のあるものをそのままの形で示した。